

珠算検定

矢後さん(中央小)県内で唯一

第192回珠算能力検定の1級試験で、富山市中央小学校5年の矢後七菜(なな)さんが、同市南田町が県内で唯一、満点合格を果たした。2日に日本珠算連盟からの賞状と盾が贈られ、「これからも頑張って勉強し、いつか10段に挑戦したい」と意欲でいっぱいだった。



永川さん(左)と邦子さん(右)に囲まれ笑顔で賞状を手にする矢後さん

すごいね 1級満点合格

算数が苦手だった矢後さんは1年生の時に母親に勧められ、富山市清水町の珠算教室「YAYOIスクール」に通い始めた。代表の水川喜久彌さんと妻の邦子さんに習ううちにどんどん上達。練習するのが楽しくなった。現在は週に3、4回スクールに通い、70分の授業を自主的に1日2回以上受けている。永川さんは「一生懸命さは誰にも負けず」と笑顔を見せた。

1級の満点合格は、受験者が何度も挑戦して目指す目標の一つ。矢後さんはことし2月に1級に合格したが満点ではなかったため、6月に再び受験し、掛け算、割り算、見取り算の3種目ともに満点を取った。受験者9391人のうち合格者は2727人で、満点は22人だった。矢後は両方とも10段を目指し、また「将来の夢は医者」という矢後さんは「目標だった満点が取れてうれしい。もっと計算上手になりたい。珠算と暗算は両方とも10段を目指します」と笑顔を見せた。

と暗算2段の試験もクリアした。2日は、富山会場の検定が行われた同市総曲輪の富山商工会議所で、犬島伸一郎会頭から賞状と盾を受け取った。「将来の夢は医者」という矢後さんは「目標だった満点が取れてうれしい。もっと計算上手になりたい。珠算と暗算は両方とも10段を目指します」と笑顔を見せた。